



グリーンインフラってなに？ みどり×暮らしのワークショップ

NEWS LETTER vol.01



第1回ワークショップを開催しました！！

【テーマ：都市の洪水と川口市の治水対策について】

日時：令和7年10月28日（火） 18：00～19：30 会場：東川口駅前行政センター 会議室1・2

川口市では、市内造園業者である「株式会社 テラヤマ」の協力のもと、グリーンインフラに関するワークショップを開催しました。戸塚地区在住の方を中心に約20名の方々にご参加いただき、参加者は4つのグループに分かれ、それぞれ意見交換などを行いました。

当日は、グリーンインフラと関連する「都市型洪水」や「総合的な治水対策」に関する動画を視聴し、参加者同士で感想を共有しました。また、川口市の治水対策の課題についても議論し、市民視点の具体的な提案やアイデアが活発に交わされました。



ワークショップで出された主な意見をご紹介します！

プログラム① 「雨水の行方と地面の様子」（動画）に対する感想

- ・近年豪雨が多いと感じる。 ・雨水の流れが重要だと改めて感じた。
- ・ゲリラ豪雨時は高台だから安心かということそうではないことを知った。
- ・下流で晴れていても流域の雨が集まってくることを知っておくべき。
- ・人口が増え、マンションなどのコンクリート構造物が多くなってきたのは悩ましい。



企画・制作：公益財団法人 河川財団
協力：川崎市立東菅小学校 他

プログラム②・③ 「都市型洪水とは？」（動画）・「都市の治水対策」（動画）に対する感想

- ・雨は流すか、溜めるかの両面で対策をして水が溢れないようにしていくことが重要。
- ・個人の住宅などに植栽空間を増やし、雨を敷地内に溜めることが重要。
- ・川口市では、見えないところで様々な雨水対策がなされていることがわかった。
- ・校庭や公園の地下に雨水貯留槽を作るのがよいのでは？



制作・著作：近藤デザイン研究所 近藤 昌 監修：笠井利浩
技術監修：日本建築学会 雨水活用推進小委員会

プログラム④ 川口市内の内水氾濫を軽減するためにできることは？

- ・道路の植樹帯へ雨水流入経路を確保し、雨水が地中に浸透するようにする。
- ・地域全体で雨水対策に取り組む。 ・道路を透水性舗装にする。
- ・落ち葉の除去など側溝の清掃をする。 ・個人の住宅などに緑地を増やす。
- ・個人の住宅などに雨水貯留タンクや浸透枳を設置する。



東川口貯留管



けやき通りの道路冠水

◇第2回ワークショップの開催について◇

【テーマ：グリーンインフラが大雨対策に活用される仕組みについて】

日時：令和7年12月9日（火） 18：00～19：30 会場：東川口駅前行政センター 会議室1・2

【問い合わせ】川口市 建設部 公園課 維持係
電話：048-242-6338（直通）